

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

前期

科目No.	204	科目名	生物総合評価管理学特論1		サブネーム	麻薬とタバコのリスク管理		
連携機関名		レベル	基礎～中級		講義枠	水曜日	講義時間	18:30～20:00
科目概要	麻薬とタバコに関して科学的情報を整理して紹介しつつ、ケシの不法栽培や新しい覚せい剤の若者への浸透の防止への取り組み、そして、たばこの禁煙運動の必要性を述べる。							

サブタイトル	No	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
麻薬	1	麻薬	麻薬といわれるものの種類と分類等を総合的に解説する。国連麻薬委員会の報告書から統計的内容も解説する。	4月19日	共通講義棟 1号館 102教室	佐竹元吉	お茶の水女子大学 生活環境研究センター
	2	ケシ	ケシに関する分類、品種、栽培特性、栽培の歴史と不法栽培への取り組み、モルヒネ生産のためのけしがらの濃縮物について紹介する。また、トルコとオーストラリアの栽培報告、アヘン生産国インドの状況について解説する。	4月26日			
	3	大麻	種類と成分含有量の関係、形態的特性、無毒大麻の育成について解説する。	5月10日			
	4	向精神薬の問題点(覚せい剤も含む)	向精神薬の問題点(覚せい剤も含む)、種類と作用、密造と原料、MDMAの流行とその原料について解説する。	5月17日			
	5	いわゆる合法ドラッグ	いわゆる合法ドラッグは食品と同じ感覚で利用し、幻覚や痩身を目的に利用されている。しかし人体に有毒なものが多く、その行政的対応に苦慮している現状を解説する。	5月24日			
	6	医薬品としての麻薬の重要性	末期医療でのモルヒネの重要性、風邪薬としてのコデイン、痛み止めのコカインや合成麻薬、医療機関での利用方法の改善の動きを解説する。	5月31日			
	7	麻薬撲滅運動の現状	厚生労働省監視指導・麻薬対策室の活動、取り締まり官の活動、ミャンマーでの活動のについて解説する。	6月7日			
	8	国連麻薬委員会の乱用薬物の取り組み	麻薬に関する国連の対策への動き、各国の対策状況、そしてアフガニスタンの現状について解説する。	6月14日			
タバコ	9	利用されてきたタバコの種	世界各国でタバコの利用の歴史、摘み取ったままの乾燥品を直接喫煙、シガレットと呼ばれる葉巻たばこ、紙で巻いたタバコ、水タバコなどについて解説する。	6月21日			
	10	世界のたばこ植物及び同様に用いられている植物	タバコの原料の生育地と現在の生産地など国内での生産地について解説する。	6月28日			
	11	成分	植物体の成分、喫煙時の主流煙の成分及び副流煙の成分、環境中での成分、これらの測定方法について解説する。	7月5日			
	12	安全性の問題	人体に対する作用、動物実験での毒性情報について解説する。	7月12日			
	13	禁煙運動	欧米から始まった禁煙運動、WHOの禁煙宣言、厚生労働省の禁煙への取り組み、各地の取り組みについて解説する。	7月19日			
	14	喫煙の歴史と文化	イギリス紳士のシンボルマークとしてのシガレット(チャーチル首相に代表される)、世界のスポーツのスポンサーとしてのタバコ産業、日本の税制の一翼を担ったタバコ専売公社、そしてタバコに関連する商品のデザイン競争について解説する。	7月26日			
	15	薬用植物としてのタバコ葉	民間薬として利用されてきたタバコ、薬効の研究、ニコチンの作用について解説する。	8月2日			